令和6年度 第12回 四国中央市農業委員会
総会議事録

四国中央市農業委員会

令和6年度第12回農業委員会総会日程表

日 時 令和7年3月6日(木) 午後1時30分～
場 所 JAうま総合経済センター 会議室
招集者 四国中央市農業委員会会長 高橋 藤信

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
日程第2 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について
日程第3 議案第1号 農地法第3条第1項の規定による許可申請について
日程第4 議案第2号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について
日程第5 議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請について
日程第6 議案第4号 農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画(貸借)の承認について
日程第7 諮問第1号 法定外公共財産(道・水路)の用途廃止について
日程第8 諮問第2号 農業振興地域整備計画の変更に対する意見について

出席委員(15名)

1 大西嘉一郎	3 森川雅之	4 石川光男	6 尾崎之隆
7 池田忠志	8 篠永賢二	9 星川俊夫	10 河村久仁彦
12 眞鍋晴豊	13 鈴木博美	15 鈴木和治	16 村上佳清
17 寺尾悟志	18 則友祝幸	19 石川武将	

出席農地利用最適化推進委員(24名)

2 石川茂	3 山下宏二	4 星川久和	5 高橋忠明
6 佐藤保之	7 宇高勉	8 鎌倉静夫	9 竹本正行
10 喜井仁志	11 村上紘一	12 石川繁	13 紀井正明
14 受川清男	15 三好昇	16 合田篤夫	17 鈴木一郎
18 伊藤浩一	19 萩尾博	20 高橋秀典	21 越智寧

22 近藤良啓

23 河村嘉男

24 竹内正篤

25 鈴木敏也

欠席委員（3名）

5 押条和司朗

11 坂上 宏

14 高橋藤信

欠席農地利用最適化推進委員（1名）

1 脇 純樹

出席した職員

事務局長 森 實 大 次 長 三宅栄一 次 長 石川みちる

係 員 藤田兼弥

第12回 四国中央市農業委員会総会 議事録

開会 令和7年3月6日(13:30~)
JAうま経済センター2階 会議室

局長 みなさん、ご起立願います。

局長 「礼」ご着席ください。

局長 本日は、会長欠席のため、職務代理者の星川委員に会長をお願いします。
それでは、開会にあたりまして、会長から総会招集の挨拶をお願いいたします。

会長 (会長挨拶)

議長 只今の出席委員数は、15名であります。

議長 したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、
定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

議長 よって、第12回四国中央市農業委員会総会を開会いたします。

議長 これより、会議を開きます。

議長 議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

議長 ご報告いたします。総会会議規則第3条の規定により、

5番 押条 委員

11番 坂上 委員

14番 高橋 委員

から欠席届がありましたので、ご報告いたします。

また、農地利用最適化推進委員の

1番 脇 委員

より欠席届がありましたので、お知らせいたします。

議長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

議長 会議録署名委員は、総会会議規則第15条第2項の規定により、

15番 鈴木 委員、16番 村上 委員 を指名いたします。

議長 日程第2、報告第1号、「農地法第18条第6項の規定による通知」について、
を議題といたします。

議長 報告を求めます。石川 次長

石川 それでは、報告第1号、「農地法第18条第6項の規定による通知」について、報告いたします。

番号1の案件については、令和7年1月20日解約。

番号2の案件については、令和7年1月23日解約。

番号3の案件については、令和7年1月27日解約。

番号4の案件については、令和7年1月30日解約。

番号5の案件については、令和7年1月24日解約。

以上、5件の解約通知がありました。報告を終わります。

議長 以上で、報告は終わりました。

議長 日程第3、議案第1号、「農地法第3条第1項の規定による許可申請」について、
を議題といたします。

議長 議案の説明を求めます。石川 次長

石川 それでは、議案第1号、「農地法第3条第1項の規定による許可申請」について、説明いたします。

申請案件すべて、農地法第3条第2項各号に該当しておらず、許可要件を満たしています。

番号1の案件については、贈与による所有権移転です。許可後は果樹の栽培を予定しています。

番号2の案件については、小作地開放です。所有権を買い取り、経営の安定を目指すもので、許可後は野菜の栽培を予定しています。

番号3の案件については、売買による所有権移転です。許可後はトマトの栽培

培を予定しています。

番号4の案件については、売買による所有権移転です。受人は、本申請で新たに農地を取得する新規就農者であるため、2月19日に地元農業委員とヒアリング及び現地確認を行いました。許可後は野菜や柑橘等の栽培を予定しています。

番号5の案件については、売買による所有権移転です。申請地は狭小ですが、受人の所有農地に隣接し、一体的に利用するため申請するもので、許可後は米や里芋の栽培を予定しています。

番号6の案件については、贈与による慣行小作権の移転です。申請地に設定されている慣行小作権を、近隣で耕作便利のため譲り受けるもので、許可後は水稻の作付けを予定しています。

以上で説明を終わります。

議長 以上で、議案の説明は終わりました。

議長 これより、質疑にはいります。

委員の方で、補足説明があればお願いします。

議長 番号1番について、質疑はありませんか。

委員 異議ありません。

議長 続きまして2番

委員 異議ありません。

議長 3番

委員 異議ありません。

議長 4番

委員 受人は、今回の申請で新たに農地を取得する新規就農者であるため、2月19日にヒアリングと現地確認を行いました。

申請地は、申請者の住宅の近隣にある農地で、野菜や柑橘を栽培する予定です。申請者は、農業経験者である母親とともに10年ほど農業に携わっており、農作業の経験は問題ないと思います。申請地の規模からも、現在所有している鍬だけで作業することが十分可能であると思いますが、必要となれば草刈り機などを購入予定とのこと。今後、地域と協力し、意欲的に農業を継続していく意思を確認しましたので問題ないと思います。

議 長 5 番

委 員 異議ありません。

議 長 6 番

委 員 異議ありません。

議 長 ほかに、質疑はありませんか。

委 員 (「特になし。」との声)

議 長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議 長 議案第1号、「農地法第3条第1項の規定による許可申請」について、原案のとおり許可することに賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 (挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、議案第1号は、原案のとおり許可することに決しました。

議 長 日程第4、議案第2号、「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見」について、を議題といたします。

議 長 議案の説明を求めます。藤田 係員

藤 田 それでは、議案第2号、「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見」について、説明いたします。

申請件数は5件で、すべての案件について、許可要件である「立地基準」「一般基準」とともに満たしております。

番号1の案件について、受人は、太陽光発電事業等を営む法人であり、日当たりが良く、太陽光発電事業に適した申請地を譲り受けての太陽光発電施設建設で、申請地は小集団の農地であるため、転用許可申請することはやむを得ないと思われます。

番号2の案件について、受人は、現在隣接する自宅敷地内に自家用車を駐車していますが、狭小であり不便だったため、申請地を譲り受けての駐車場建設で、申請地周辺は宅地化が進み市街化が見込まれる地域であるため、転用許可申請することはやむを得ないと思われます。

番号3の案件について、受人は、長年思案していた自営の店舗を開業するため、集合住宅に近く生活環境の整った申請地を譲り受けての飲食店建設で、申請地周辺は宅地化が進み市街化が見込まれる地域であるため、転用許可申請することはやむを得ないと思われます。

番号4の案件については、議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請」番号1の関連案件です。受人は、遊技場経営を行う法人ですが、今般、店舗の増築に伴い、現在利用している申請地隣接の駐車場及び令和7年2月に許可を受けた駐車場用地だけでは不足するため、新たな申請地を借り受けての駐車場建設で、申請地は第3種農地であり、転用許可申請することはやむを得ないと思われます。なお、既に一部が造成されていることから始末書が提出されています。

番号5の案件について、受人の子供は、現在県外に居住していますが、今般、帰郷して自己住宅を建築することとなったため、受人の自宅付近で利便性の良い申請地を譲り受けての宅地造成で、造成後は、子供が自己住宅を建築するものです。申請地は第3種農地であり、用途地域でもあることから、転用許可申請することはやむを得ないと思われます。

以上で説明を終わります。

議 長 以上で、議案の説明は終わりました。

議 長 これより、質疑にはいります。

委員の方で、補足説明があればお願いします。

議 長 番号1番について、質疑はありませんか。

委 員 異議ありません。

議 長 続きまして2番

委 員 異議ありません。

議 長 3番

委 員 異議ありません。

議 長 4番

委 員 異議ありません。

議 長 5番

委 員 異議ありません。

議 長 ほかに、質疑はありませんか。

委 員 (「特になし。」との声)

議 長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議 長 議案第2号、「農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見」について、「異議なき旨の意見」とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 (挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、議案第2号は、「異議なき旨の意見」とし、同意見を附して県知事に進達いたします。

議 長 日程第5、議案第3号、「農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請」について、を議題といたします。

議 長 議案の説明を求めます。 石川 次長

石 川 それでは、議案第3号、「農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請」について、説明いたします。

番号1の案件については、議案第2号、「農地法第5条第1項の規定による許可申請」番号4の関連案件です。当初計画者が、令和7年2月に駐車場として農地転用の許可を受け、事業計画に沿って工事を進めようとしていたが、急遽、新たな申請地を借り受けることができるようになり面積が変更となったため、新たな申請地を含めた必要面積で駐車場用地を拡張するための事業計画変更です。

以上で説明を終わります。

議 長 以上で、議案の説明は終わりました。

議 長 これより、質疑にはいります。

委員の方で、補足説明があれば、よろしくをお願いします。

議 長 番号1番について質疑ありませんか。

委 員 異議ありません。

議 長 ほかに、質疑はありませんか。

委 員 （「特になし。」との声）

議 長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議 長 議案第3号、「農地法第5条第1項の規定による許可後の事業計画変更申請」について、「異議なき旨の意見」とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 （挙手全員）

議 長 挙手全員であります。

よって、議案第3号は、「異議なき旨の意見」とし、同意見を附して県知事に進達いたします。

議 長 日程第6、議案第4号、「農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画（貸借）の承認」について、を議題といたします。

議長 議案の説明を求めます。 藤田 係員

藤田 それでは、議案第4号、「農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画（貸借）の承認」について、説明いたします。

番号1の案件については、5年間の賃貸借です。

番号2の案件については、10年間の賃貸借です。

番号3の案件については、3年間の使用貸借です。

番号4の案件については、8年8ヶ月間の賃貸借です。

番号5の案件については、8年8ヶ月間の賃貸借です。

番号6の案件については、5年間の使用貸借です。

番号7の案件については、5年間の賃貸借です。

番号8の案件については、5年間の使用貸借です。

番号9の案件については、5年間の使用貸借です。

番号10の案件については、5年間の使用貸借です。

番号11の案件については、5年間の使用貸借です。

番号12の案件については、5年間の使用貸借です。

番号13の案件については、10年間の使用貸借です。

番号14の案件については、3年間の賃貸借です。

番号15の案件については、3年間の使用貸借です。

番号16の案件については、1年間の使用貸借です。

番号17の案件については、5年間の使用貸借です。

番号18の案件については、5年間の使用貸借です。

番号19の案件については、5年間の使用貸借です。

番号20の案件については、5年間の使用貸借です。

番号21の案件については、10年間の使用貸借です。

番号22の案件については、10年間の使用貸借です。

番号 23 の案件については、10 年間の使用貸借です。

番号 24 の案件については、10 年間の使用貸借です。

番号 25 から 33 の案件については、再設定ですので説明は省略します。

以上で説明を終わります。

議 長 以上で、議案の説明は終わりました。

議 長 これより質疑にはいります。

委員の方で、補足説明があればお願いします。

議 長 番号 1 番について、質疑はありませんか。

委 員 特に異議ありません。

議 長 続きまして 2 番

委 員 異議ありません。

議 長 3 番

委 員 異議ありません。

議 長 4 番

委 員 異議ありません。

議 長 5 番

委 員 異議ありません。

議 長 6 番

委 員 異議ありません。

議 長 7 番

委 員 異議ありません。

議 長 8 番

委 員 異議ありません。

議 長 9 番

委 員 異議ありません。

議長 10 番
委員 異議ありません。
議長 11 番
委員 異議ありません。
議長 12 番
委員 異議ありません。
議長 13 番
委員 異議ありません。
議長 14 番
委員 異議ありません。
議長 15 番
委員 異議ありません。
議長 16 番
委員 異議ありません。
議長 17 番
委員 異議ありません。
議長 18 番
委員 異議ありません。
議長 19 番
委員 異議ありません。
議長 20 番
委員 異議ありません。
議長 21 番
委員 異議ありません。
議長 22 番

委員 異議ありません。

議長 23 番

委員 異議ありません。

議長 24 番

委員 異議ありません。

議長 番号 25 から 33 番の再設定について質疑はありませんか。

委員 (「特になし。」との声)

議長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議長 採決に入る前に、番号 6 から番号 11、番号 18 から番号 20 については、鈴木一郎委員の関連案件でありますので、農業委員会等に関する法律第 31 条の規定により、鈴木委員の退席を求めます。

(鈴木 一郎 推進委員退席)

議長 議案第 4 号中、番号 6 から番号 11、番号 18 から番号 20、「農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画(貸借)の承認」について、「支障なき旨の意見」とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

委員 (挙手全員)

議長 挙手全員であります。よって、番号 6 から番号 11、番号 18 から番号 20 は、「支障なき旨の意見」とし、市へ答申いたします。

議長 鈴木委員の入室を許可いたします。

(鈴木 一郎 推進委員 入室・着席)

議長 鈴木委員に報告します。鈴木委員関連案件の番号 6 から番号 11、番号 18 から番号 20 については、「支障なき旨の意見」とし、市へ答申することに決しましたので、報告いたします。

議長 続いて、番号 14 番号 15 については、鈴木和治委員の関連案件でありますので、鈴木委員の退席を求めます。

(鈴木 和治 委員退席)

議 長 議案第4号中、番号14 番号15について、「支障なき旨の意見」とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 (挙手全員)

議 長 挙手全員であります。よって、番号14 番号15は、「支障なき旨の意見」とし、市へ答申いたします。

議 長 鈴木委員の入室を許可いたします。

(鈴木 和治 委員 入室・着席)

議 長 鈴木委員に報告します。鈴木委員関連案件の番号14 番号15については、「支障なき旨の意見」とし、市へ答申することに決しましたので、報告いたします。

議 長 それでは、引き続き採決を行います。

議 長 議案第4号中、番号6から番号11、番号14 番号15、番号18から番号20以外について、「支障なき旨の意見」とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 (挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、議案第4号は、「支障なき旨の意見」とし、市へ答申いたします。

議 長 日程第7、諮問第1号、「法定外公共財産（道・水路）の用途廃止」について、を議題といたします。

議 長 議案の説明を求めます。 三宅 次長

三 宅 それでは、諮問第1号、「法定外公共財産（道・水路）の用途廃止」について、説明いたします。

番号1の案件について、当該「道」と「水路」は申請者の建設予定地間に所在しており、所有地の有効利用のため、「道」と「水路」の用途を廃止し、

払い下げを受け、一体利用するもので、代替道、代替水路を寄付する予定です。なお、地元土地改良区の同意書が添付されています。

また、北側部分の愛媛県管理の漁港区域内の道・水路については、県が用途廃止をします。

番号2の案件については、令和5年第9回総会に諮問され、支障なき旨の意見として市に答申した案件ですが、開発行為の許可を受け、造成工事の準備にとりかかったところ、当該地北側より海水が流入していることが判明しました。修復も検討しましたが、流入部分の特定が難しく、また、隣接地を経由して開発区域に流入しているため改修も難しいことから、流入する海水の排水処理を行うための潮だまりが必要となり、潮だまりの海水を既存の市管理の水門より排水し、事業地内の雨水は申請地東側の市管理の樋門内へ直接排水するよう当初の造成計画を変更することとなりました。このようなことから、代替水路の設置を取りやめ、倉庫建設予定地にある「道」と「水路」については当初の用途廃止申請を変更し、変更後の用途廃止部分について払い下げを受け、一体利用するものです。また、地元土地改良区の同意書が添付されています。

以上で説明を終わります。

議 長 以上で、議案の説明は終わりました。

議 長 これより、質疑にはいります。

議 長 番号1について、質疑はありませんか。

(三好 昇 推進委員コメント)

委 員 3月1日現地を確認しました。当該「道」と「水路」は申請者の倉庫建設予定地の間に所在しており、一体利用するため払い下げを受け、代替道を事業地東側に代替水路は事業地南側から東側にとり、それぞれ寄付する予定です。地元土地改良区の同意も得られているため、用途廃止することは問題ないと

思われます。

北側の愛媛県管理の漁港区域内については、事務局の説明のとおりです。

議長 続きますして2番

(石川 光男 委員コメント)

委員 申請地は、転用により倉庫の一部になることから、開発行為の許可を受け、造成工事の準備にとりかかったところ、事務局から説明のあった事情があり当初の計画から変更が生じ、当初の代替水路を取りやめ、用途廃止のみになり、「道」・「水路」の用途廃止については、地元土地改良区の同意を得ておりますので、用途廃止することは問題ないと思います。

議長 ほかに、質疑はありませんか。

委員 (「特になし。」との声)

議長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議長 諮問第1号、「法定外公共財産(道・水路)の用途廃止」について、「廃止しても支障なき旨の意見」とすることに、賛成の委員の挙手を求めます。

委員 (挙手全員)

議長 挙手全員であります。

よって、諮問第1号は、「廃止しても支障なき旨の意見」とし、市へ答申いたします。

議長 日程第8、諮問第2号「農業振興地域整備計画の変更に対する意見」について、を議案といたします。

議長 議案の説明を求めます。三宅 次長

三宅 それでは、諮問第2号、「農業振興地域整備計画の変更に対する意見」について、説明いたします。

番号1について、申出者は近年、雑貨全般の企画・製造・販売が好評で、需要に対し供給が間に合っていない状況が続いているため、昨年、新工場建設

用地を取得しましたが、現在の社員駐車場では、新工場建設に伴う人員増による社員駐車場不足が予想されます。申出者所有地での駐車場確保は難しく、新たに土地を取得しようと複数の土地を検討しましたが、申出地以外に条件を満たす土地がなかったため、やむを得ず農用地区域からの除外申請をするものです。

以上で説明を終わります。

議 長 以上で、議案の説明は終わりました。

議 長 これより、質疑にはいります。

議 長 番号1番について、質疑はありませんか。

委 員 特に異議ありません。

議 長 ほかに、質疑はありませんか。

委 員 (「特になし。」との声)

議 長 格別ないようですので、これより採決いたします。

議 長 諮問第2号、「農業振興地域整備計画の変更に対する意見」について、「変更しても支障なき旨の意見」とすることに、賛成の委員の挙手を求めます。

委 員 (挙手全員)

議 長 挙手全員であります。

よって、諮問第2号は、「変更しても支障なき旨の意見」とし、市へ答申いたします。

議 長 以上をもって、本日の日程並びに本総会に付議された案件は、すべて終了しました。

議 長 これより、その他の協議にはいります。委員の皆さんから、何かご意見等がありましたらお願いします。

委 員 (「特になし。」との声)

議 長 ないようでしたら、局長より、その他事務報告をお願いします。

局 長 事務報告

議 長 長時間にわたり、慎重なご審議、誠にありがとうございました。

これをもちまして、第12回四国中央市農業委員会総会を閉会いたします。

ご協力、ありがとうございました。

局 長 ご起立願います。

局 長 「礼」、お疲れ様でした。

閉会時間 (14:04)

署 名 人

四国中央市農業委員会

議 長 星川俊夫

委 員 鈴木和治

委 員 村上佳清